

春日井写真同好会

第175回 例会記録



◆開催日・時・場所

P.1

平成26年 2月20日(木)

13:00~15:00頃

松寿会事務所

◆出席者 3名

福田さん、村田さん、
松倉記

※上のタイトルバックは、久しぶりの『三叉公園、雪景色』(by Mr. Matsukura) 2014,02,08

★比較的穏やかに過ごせた1月から、2月に入り一転、居座り始めた寒気団と南岸低気圧でこの地方も2回ほど雪景色になりました。雪害の経験のない山梨県では今尚、生活に痛手が出ているようです。また、ソチオリンピックは終盤となり、睡眠不足は解消されましたので、あらためて、体調管理をしっかりして、そろそろ、梅の開花や河津桜の開花の知らせが届き始めている“春”の撮り歩きに備えて行きたいと思います。次回の撮影会は、“佐布里池 梅祭り”となりました。今回は、“鳥羽の火祭り”“国府宮の裸祭り”などの作品を紹介します。

☆2月9日(日);幡豆町、天下の奇祭『鳥羽の火祭り』・・・村田さんの作品(①~⑤)



①②午後3時;鳥羽海岸で“禊ぎ”



③④⑤午後7時頃~

『すずみ』と呼ばれる巨大な松明にが点火され、燃え盛る『すずみ』を神男と奉仕者たちが果敢に崩しにかかりながら、青竹や葦、藁に包み込まれた神木を取り出し、神前に納める...と言う、まさに奇祭。(東西2組で競う)



★⑥⑦⑧午後3時; 近隣の各地から、歓声と共に、次々と“なおい笹”を担いだ大勢の裸男達が拝殿目がけて、駆け込みます。 いよいよ、難追神事はそのピークを迎えます。
なおい笹には、厄除け祈願の“なおいぎれ”が多数、巻かれています。



★⑨⑩午後5時; 参道が異様な空気に包まれます。神男の登場です!!!
集まった裸男たちが、神男に触ることによる厄除けを目指して、一斉に殺到します。 まさに、クライマックス

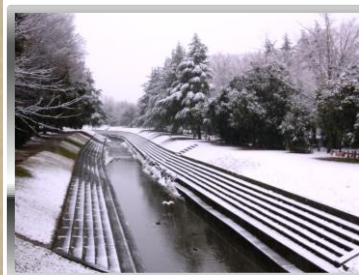


☆散策と季節の便り・・・村田さんの作品(⑪、⑫)

☆定点観察(晩秋VS雪景色)・・・松倉の作品(⑬、⑭)



2013年11月26日
晩秋の生地川
青空と黄葉



2014年2月8日
生地川の雪景色
モノトーン

【編集後記】

★次回の定例会;
⇒知多市『佐布里(そうり)池梅祭り』にて撮影会
【集合日時】平成26年 3月 1日(土) 9時 集合
【集合場所】 JR金山駅 乗換え通路付近
※出欠などのご連絡は、村田さんまで・・・TEL:0568-81-8283



“国府宮裸祭り”の撮影は、満員電車でシャッターを切るようなもので、大苦戦！
それでも、何とか厄除けの“なおいぎれ”を3本GETしました。
（左の写真は、撚り合わせたもの）